

瑞牆・金峰山 =氷の山体験記=

【行動日】 2020.2.15(土)～16(日)

【参加者】 CL 江橋 森田 小俣 (記録)

【行程】 15日 瑞牆山

瑞牆山荘駐車場 9:00～富士見平 10:00～テント設営・出発 10:40～鞍部 11:15～頂上 12:45-13:20 下山～富士見平・幕場 14:50

天気予報が良くない感じでしたが、週末に近づくにつれ好転、土曜は晴れ予報に！
期待を膨らませ千葉を出発。しかし、暖かい。雪は残っているのか??

瑞牆山荘駐車場に着くと林の中には雪はあるといった程度、登山道には雪は無く、ところどころ霜柱でボコボコになっていました。富士見平まで小一時間登ると、水場表示のあるあたりから道には雪ではなく、氷が・・・暖かいと解けて踏み固められ氷に・・・恐れていた通りの登山道が現れました。幕場の富士見平には雪は殆ど無く、人影もまばら。3週間くらい前には30cmくらいの積雪があり、結構にぎわっていたとのこと (小屋主さん)

テント設営後、瑞牆山に出発。CLの百名山狙いは、1日目で瑞牆山をものにすることが第一目標！瑞牆は「名前も良し」「姿も良し」「展望も良し」いい山です。出発するとすぐ氷の道、石の頭が出ていなければスケートリンクと変わらないよ～少し様子を見るが、全面氷と分かり、アイゼン装着。終始、氷道を歩くこととなる。氷瀑と化した場所もあり、雪山でなく、氷の山？山頂部に少し雪を見ただけでほぼ氷の道！

山頂にて記念写真後、時間はたっぷりあるので、思いおもいに写真をとったり、まったりしたり時間を過ごす。展望良好にて、東に金峰山の五疊岩、圧巻の富士山、南アルプスは塩見～北岳～仙丈～甲斐駒がくっきり、中央アルプス・御岳も白い、西は八ヶ岳東面が手に取るように・赤岳天狗尾根の大天狗も分かる、蓼科山の奥に北アルプスの峰々が・・・鹿島槍・五竜以北の山並みか？・・・そして、北の樹林脇に浅間山が大きな姿を見せている。南から見る浅間は暖冬のためか白くない！結構まだらに黒い。

下山は氷道を用意深く下る。氷と岩の道は膝にくる!!!年配者には辛い道でした。登り返して富士見平。出発時には閉まっていた小屋に人が・・・小屋主さんがしっかりテント代の徴収に登って来ていました。買い物が無いかな聞いたらさっさと下山して行かれました。後はテントの中でまったりするのみ。

夜間、星空が美しい！下弦の月で月の出が遅いこともあり満天の星は大きく見えました。明日の天気を期待して眠りにつく。





瑞牆山山頂



瑞牆山山頂より

【行程】 16日 金峰山

起床 4:00～幕場出発 6:15～大日小屋 7:14-25～大日岩基部 7:45～八丁平分岐 7:55～砂払の頭 9:00（下山）～大日岩分岐 9:50-10:00～富士見平～（下山準備）出発 12:00～瑞牆山荘駐車場着 12:50～増富温泉入浴

朝からどんより。昨日の小屋主の話では「天気予報は1日曇り、9時頃に一時雪。風が強まる」とのことでした。明るくなったら、直ぐに出発。大日小屋では普通の曇りだったのが、大日岩あたりからパラパラと雨模様、しかし樹林帯の中なので気にならずどんどん進んでいくが、いよいよ稜線に出る手前あたりから雨ではなく雹まじりのみぞれになり、いや～な感じ。砂払の頭に出ると岩稜帯の吹き曝しになり風が強い。強風の中、雹がパチパチと当たり痛い。CLの百名山制覇の金峰山は踏破済なので、ここは無理せず引き返しましょうということになり、砂払の頭での証拠写真を撮って下山。下山中、樹林帯の中にもかかわらず強風が吹き抜ける場面が何度もあり、無理をせず正解だったと思いました。

幕場は雨で泥んこ、テントは底の防水が切れていたのか浸水してビショッリ、雨の中の撤収となりました。

幸いなことに、駐車場に着いたときには雨が小やみになっており、荷物整理が順調にでき良かったです。温泉に着くころには、またしても本降りに・・・

増富温泉はラジウム温泉で有名なところ。初めて入浴しましたが、湯治の方や癌をわずらった方などが温泉療法に訪れておられました。悪天にもかかわらず駐車場に車がいっぱいだったのが分かりました。源泉は25℃で、36度・38度・40度と沸かし湯の湯舟（これらは鉄泉色）があり、ラジウム鉱石の入った42度の上がり湯（透明）と多彩な湯舟でした。温泉療法では、ぬるめの湯に30分～1時間くらい入るようです。

～おしまい～



大日岩



砂払の頭より



砂払の頭より